

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和元年 7 月 1 日

情報連絡事項	頁
(1) 令和元年度 Jアラートの全国一斉情報伝達訓練への参加について	1
(2) 災害時協定の締結について	2
(3) 東京マイ・タイムラインの配布について	3
(4) 令和元年度足立区・消防署合同総合水防訓練の実施結果について	4
(5) 平成30年度シェイクアウト訓練の実施結果について	5

(危機管理部)

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和元年7月1日

件名	令和元年度Jアラートの全国一斉情報伝達訓練への参加について
所管部課名	危機管理部 危機管理課、災害対策課、防災力強化担当課
内容	<p>本訓練は、総務省消防庁により、定期的な作動確認の必要性等を踏まえ、年4回の訓練実施を予定している。</p> <p>(1) 目的 国から送られてくる緊急情報（地震・津波や武力攻撃等）を区民へ迅速かつ確実に伝えるために情報伝達手段の起動試験を行う。</p> <p>(2) 実施内容 足立区内の防災行政無線の屋外スピーカーから試験放送が流れる。 ※放送内容 ア 防災行政無線チャイム イ 「これはJアラートのテストです。」 (繰り返し3回) ウ 「こちらは足立区役所です。」 エ 防災行政無線チャイム</p> <p>(3) 訓練スケジュール 1回目：令和元年5月15日（水）《実施済み》 2回目：令和元年8月28日（水） 3回目：令和元年12月4日（水） 4回目：令和2年2月19日（水）</p> <p>いずれの日程も午前11時（予定）</p>
問題点 今後の方針	

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和元年7月1日

件名	災害時協定の締結について
所管部課名	危機管理部災害対策課
内容	<p>下記のとおり、災害協定を締結した。</p> <p>1 第二次避難所施設等利用に関する協定</p> <p>(1) 締結先 社会福祉法人 あだちの里</p> <p>(2) 協定締結日 平成31年3月27日(水)</p> <p>(3) 概要 災害時において、施設の一部を第二次避難所として利用する。</p> <p>(4) 対象施設</p> <p>ア 竹の塚福祉園、竹の塚ひまわり園(足立区竹の塚七丁目19番7号)</p> <p>イ 綾瀬なないろ園(足立区綾瀬七丁目14番12号)</p> <p>(5) 要配慮者の受入可能人数</p> <p>ア 竹の塚福祉園、竹の塚ひまわり園 60名</p> <p>イ 綾瀬なないろ園 20名</p> <p>2 災害時における帰宅困難者の受け入れ等に関する協定</p> <p>(1) 締結先 宗教法人善立寺(足立区梅田一丁目26番10号)</p> <p>(2) 協定締結日 平成31年3月28日(木)</p> <p>(3) 概要 帰宅困難者向け一時滞在施設の提供等</p> <p>(4) 受入れ可能人数 180名</p> <p>3 大規模災害時における被災者支援に関する協定書</p> <p>(1) 締結先 東京都行政書士会足立支部</p> <p>(2) 協定締結日 令和元年5月7日(火)</p> <p>(3) 概要</p> <p>ア 被災証明書、り災証明書、災害見舞金の交付申請手続きの支援</p> <p>イ 相続、遺言に関する相談</p> <p>ウ 戸籍住民票の写しの交付申請、住民異動届出手続きの支援</p> <p>エ 借地借家関係、建物再建の相談</p> <p>オ 区が開設した相談所などへの会員派遣</p>
	問題点 今後の方針

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和元年7月1日

件名	東京マイ・タイムラインの配布について
所管部課名	危機管理部災害対策課
内容	<p>東京都が「東京マイ・タイムライン」を作成し、6月上旬から配布を開始したので報告する。</p> <p>1 東京マイ・タイムラインについて 風水害の予報や河川水位情報等をもとに避難のタイミングや取るべき防災行動について、各世帯で「いつ・誰が・何をするか」を決め、記載するもの。 今回都が、子どもから大人まで幅広い世代が作成できるようにガイドブック等を作成した。</p> <p>2 種類および内容 小学校低学年用、高学年用、中学校用、高校用、一般用の5種類。 (1) 作成ガイドブック (2) マイ・タイムラインシート（台風接近、長期の大雨、短時間の豪雨に応じた3種類） (3) 避難開始など行動のシール</p> <p>3 配布方法 (1) 小・中・高等学校は、私立公立を問わず、学校から全ての児童等へ配布 (2) 一般用は各自治体より配布 (3) 電子データ（PDF版）を東京都防災ホームページで公表 (4) スマートフォン、パソコンでマイ・タイムラインを作成できる作成フォームを配信</p>
問題点 今後の方針	災害対策の講演会などで東京マイ・タイムライン作成の周知を図っていく。

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和元年7月1日

件名	令和元年度足立区・消防署合同総合水防訓練の実施結果について
所管部課名	危機管理部 災害対策課、防災力強化担当課
内容	<p>当該水防訓練について、悪天候が予想されていたため、規模を縮小し、足立区職員、消防職員、消防団員のための訓練を実施した。</p> <p>1 実施日時及び場所 (1) 日時 令和元年6月15日(土) 午前9時30分から11時00分 (2) 場所 足立区千住大川町32番先(荒川右岸大川町緑地)</p> <p>2 参加機関 (1) 足立区職員 (2) 東京消防庁(区内3消防署、第六方面消防救助機動部隊) (3) 区内各消防団</p> <p>3 主な訓練内容等 (1) 区職員・東京消防庁・消防団による水防工法 (2) 区所有の重機を活用した、放置車両等の道路啓開活動 (3) 区災害対策本部・東京消防庁・消防団現場指揮本部の情報連携及び運用 (4) 消防隊による、浸水家屋に取り残された要救助者の救出救助活動</p> <p>4 訓練参加人数 184名</p> <p>5 訓練成果 区職員が実践的経験を積むとともに、東京消防庁、消防団との合同訓練により連携の充実が図られ、各機関が水害に備える意識を高めることができた。</p> <p>6 その他 悪天候のため、来賓(国会議員、都議会議員、区議会議員、関係機関等)及び町会の見学は自粛していただき、訓練を実施した。</p>
問題点 今後の方針	来年度も東京消防庁等と連携し、円滑な実施に向け、訓練計画を進めていく。

災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和元年7月1日

件名	平成30年度シェイクアウト訓練の実施結果について
所管部課名	危機管理部災害対策課、防災力強化担当課
内 容	<p>1 目的 東日本大震災が発生した「3.11」を迎えるにあたり、「自らの安全は自らが守る」自助防災意識の向上と、震災の風化防止に向けて、家庭や職場、学校等で防災対策について話し合う機会とする。</p> <p>2 実施日時及び場所 平成31年3月11日（月） 午前9時30分から1分間程度</p> <p>3 対象 (1) 区所各所属（窓口職場で接客対応者等は除く） (2) 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学 (3) 第二次（福祉）避難所、災害時協定締結事業者等</p> <p>4 参加機関・参加者数 392機関・69,514人 (平成29年度302機関・61,752人)</p> <p>5 訓練内容 (1) 防災行政無線（「夕焼け放送」が流れている固定系の無線機は除く）による訓練開始の合図で訓練を開始した。 ※無線機未配置の施設は、指定時刻等に訓練開始 (2) 3つの安全行動「姿勢を低く」、「頭を守り」、「揺れが収まるまでじっとする」を1分間実施した。 (3) 本庁舎では来庁者に対して、館内放送により訓練目的を伝え、訓練協力を呼びかけた。 (4) 訓練終了後、身の回りの安全や各施設・所属での初動対応等の防災対策について再確認するよう働きかけを実施した。</p> <p>6 訓練実施状況の確認 危機管理部の職員が本庁舎内各部の実施状況の確認を実施した。</p>
問題点 今後の方針	<p>令和元年度シェイクアウト訓練の実施予定 令和2年3月11日（水） 午前9時30分</p>